

2018 年 東京理科大学 理工学部 経営工学科入学

2020 年 大和田研究室に配属

2020 年 日本統計学会スポーツデータ分析コンペティションにて奨励賞受賞

題目 LightGBM を用いた各プレー場面におけるシュート予測とその要因分析

URL <https://sports.ywebsys.net/news/archives/0014/>

2022 年 東京理科大学 理工学部 経営工学科卒業

2022 年 筑波大学 理工情報生命学術院 システム情報工学研究群 入学

卒業研究

メタデータを用いないコンテクスチュアルターゲティングシステムの開発

学部では機械学習をテーマとする研究室に所属していた。

卒業研究は広告代理店との共同研究で、ドラマのシーンのコンテキストを自動で特定する研究。どういうシーンかを自動で特定し、その後にそのシーンに関連した広告を挿入することで広告の効果を高めることを目的とした。

論文は github の本 CV と同じページに掲載

現在の研究

大学院からは HCI に興味を持ち、研究を行なっている。

・心拍共有デバイスの開発

入学後 1 ヶ月程度で開発と実験を行なった。人と人の接触により心拍数等の生理学的な数値が揃う physiological synchronization という現象をデバイスで擬似的に誘発することにより、コロナ禍で損なわれた握手等の接触コミュニケーションを代替することを目的とした。

現在は ACMISS への投稿に向けて追加実験中。

概要は github の本 CV と同じページに掲載

・ハイブリッドオンラインコミュニケーションシステムの開発

Zoom 等のビデオ会議システムでは、対面と比べてお互いの雰囲気伝わりづらいためコミュニケーション不全を引き起こす場面が少なくない。従来のテレプレゼンスシステムでは画面を挟んで対面している場合をコンピュータビジョンの文脈で再現することを目指して研究を行ってきた。本研究ではディスプレイの配置方法を変えることでコミュニケーションにどんな変化が生まれるのか、4 種類のシステムを比較し分析を行う。

現在は MTA への投稿に向けて実験中

概要は本 CV と同じページに掲載